

## 坂の下橋（市道坂ノ下丈六線）撤去工事について

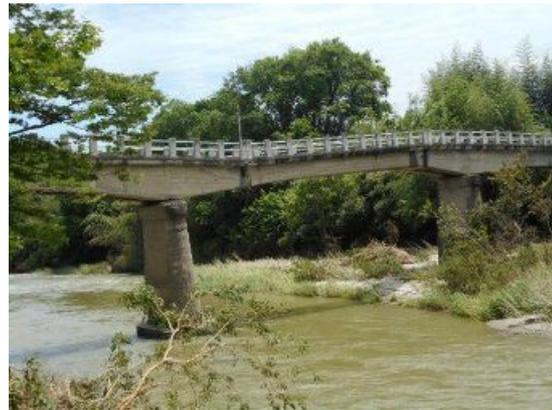
### 1. 経過

本年6月2日の台風2号の接近に伴う集中豪雨により、宇陀川に架かる坂の下橋（市道坂ノ下丈六線）の橋脚のうち1本が沈下し、橋梁上部の一部が折れ曲がる等の被害が発生しました。

そのため、坂の下橋を全面通行止めとし、橋脚の沈下や傾きの進行について、定点観測を継続して行い、併せて河川管理者である国土交通省木津川上流河川事務所、三重県等関係機関と協議を重ねてきました。

その中で、河川管理者から、今後落橋する可能性が高く、それにより河川増水時に二次的被害を生じさせかねないことから、同月20日付けで早急に被災した坂の下橋を撤去するよう指示がありました。

今般、撤去に係る工法、財源確保、地域への周知等の準備が整ったことから、当該指示に基づき坂の下橋の撤去工事（以下「撤去工事」といいます。）を実施しようとするものです。



現場写真（令和5年6月3日撮影）

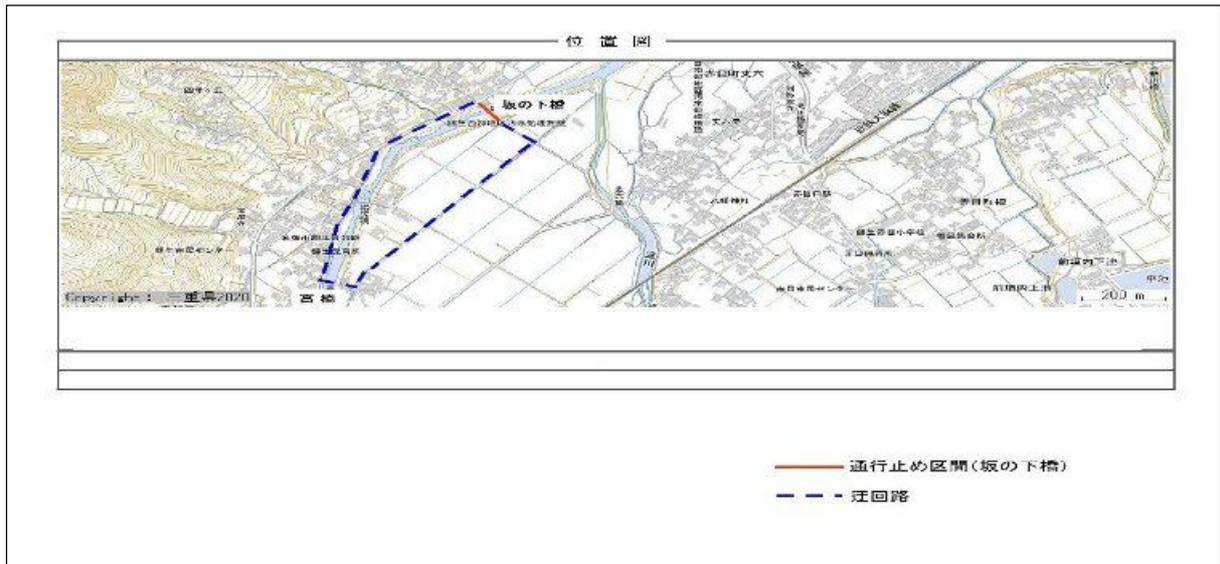
### 2. 撤去工事の概要

撤去工事は、本年6月27日から予備費により着工しており、7月末日までを工期としています（天候等の状況により変更となる場合があります。）。この撤去工事では、宇陀川左岸から仮設道を設置し、橋台部以外を重機により取り除きます。（工事図面は、別添資料②をご参照ください。）

### 3. 通行止め及び撤去の影響

本年6月3日に地域の皆様に対し、坂の下橋の通行止めによる宇陀川を横断する別ルートでの迂回のお願いについて、チラシ等により周知させていただきました。

今回の撤去工事に伴い、当分の間通行止めを継続することとなりますので、今後の復旧に係る計画等を含め、地元説明会の開催及びチラシ等による周知など、引き続き丁寧な説明に努めます。



迂回路位置図

#### 4. 費用の概要

撤去工事に要する費用は、次のとおりです。

(歳入内訳)

(千円)

区分	予算額	説明	備考
国庫支出金	46,690	土木施設復旧負担金	
繰入金	4,010	財政調整基金繰入金	
市債	28,800	現年補助土木施設災害復旧事業債 23,300 土木施設災害復旧事業債 5,500	
歳入合計	79,500		

(歳出内訳)

(千円)

区分	予算額	説明	備考
予備費	39,500		今回の災害復旧事業予備費対応分の補填
災害復旧事業	40,000	現年補助災害復旧事業	
歳出合計	79,500		

#### 5. 今後の見通し

撤去工事後の復旧工事の実施時期等については、現時点では未定です。引き続き、国、県等と協議を進め、坂の下橋の復旧に努めます。なお、復旧には概ね3年の期間を要すると想定しています。